

127 エゾセンニュウ

(スズメ目)

Locustella fasciolata

兵庫県ランク:要調査

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:調

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道では夏鳥、本州、四国、九州、沖縄では旅鳥。個体数は少なく、本州における記録は各地ともに少ない。兵庫県では主に5-6月に記録がある。低木や草の茂みの中を潜行し、姿を見せる機会は少ない。主に昆虫類を採食する。

写真なし

国内分布

北海道、本州、粟島、佐渡、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、屋久島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

神戸市、姫路市、(西宮市)、(豊岡市)、たつの市



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

Cランクから要調査に変更。

旅鳥として、主に初夏に県内を通過するが、繁みを潜行するため観察も難しく記録は極めて少ない。2000年以降の記録が極めて限られており、最近の生息状況が不明なため、要調査とした。

保護上の留意点

県内における分布および生息に関する調査が必要。また、山地から山麓、丘陵地における自然環境の残る灌木林や草原の保全と再生が重要。